（1）　（明治25年3月28日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日運輸省特別扱承認第16号）　THE JOMO SHIMBUN　平成元年（1989年）1月22日（日曜日）　第33755号　（日刊）

上毛新聞
発行所〒371 前橋市古市町1−50−21
上毛新聞社
電話 代表(0272)53−4311(代表)
編集(0272)53−4344
広告(0272)53−4346/4392
出版(0272)53−4347
工務(0272)53−4348/4368
© 上毛新聞社 1989

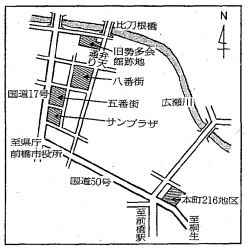
県都の商店街大きく変ぼう

本格化する再開発

市制100年（平成4年）に照準

勢多会館跡地 文化施設計画が浮上

前橋市の中心商店街で、市制施行百周年に当たる平成四年に照準を合わせた再開発事業が本格化している。コミュニティー・マート構想で、具体化が進んでいた旧勢多会館跡地（合天堂の有料駐車場）（同市千代田町三丁目）に関西テレビ系列の「ウ・ロード」を建設する計画が浮上、同町の「八番街」（三番街）、本町の「ウ・ロード」6地区に再開発ビルを建設する計画も具体化しており、近い将来、県都の中心商店街は大きく様変わりしそうだ。



コミュニティー・マート構想によると、市有地である旧勢多会館跡地は、中心商店街の五方向の拠点のひとつで、地下駐車場と広場として整備することが考えられている。しかし、その後、「旧所三跡地に勤労青少年会館（サンプラザ）を設置することが決まり、さらに同町二丁目の八番商店街「商業ビル」を建設する動きが具体化するなど、商業環境が大きく変化、地元商店街振興組合（宮木博一理事長）は計画を再度練り直す必要に迫られていた。

同組合では今月にも設置する商店街の同市、同商工会議所に協力をかけて地域再開発委員会を発足させ、元年度中に構想をまとめる方針。現段階では「昔ながら風一の シンボルとなるような番街、親しみのモニュメントを建て、水辺を活用した憩いの場を作る」（宮木理事長）ことが決まり、さらに同町二丁目の八番商店街「商業ビル」を建設する動きが具体化するなど、商業環境が大きく変化、地元商店街振興組合（宮木博一理事長）は計画を再度練り直す必要に迫られていた。